

めい じ
明 治

たい しょう
大 正

しょう わ ぜん き
昭 和 前 期

しょう わ こう き
昭 和 後 期



こおり

氷れいぞうこ

た もの き はこ うえ こおり した
食べ物をひやしておく、木でできた箱。上に氷を、下にひやしたい食べ物を入れる。

こおり くう き した もの こおり こおりや か
氷のつめたい空気が下へいき、物をひやす。氷は氷屋さんから買っていた。

しょうわ ぜん き
昭和前期

しょうわ こう き
昭和後期



でん き 電気れいぞうこ (1ドア)

とびらは1つで、中^{なか}でれいぞうするところと、れいとうするところにわかれている。

でん き
電気れいぞうこができて、氷^{こおり}をつ^{つく}くことができるようになった。



撮影：寺西二郎

でん き だいどころ
電気れいぞうこと台所



撮影：寺西二郎

でん き だいどころ
電気れいぞうこと台所



撮影：寺西二郎

でん き だいどころ
電気れいぞうこと台所



撮影：寺西二郎

でんき
電気れいぞうこのなかみ

しょうわ こうき
昭和後期

へい せい
平成



でん き 電気れいぞうこ (2ドア)

うえ した
上がれいとうするところ、下がれいぞうするところ。

た もの なが た もの い ばしょ ひろ
たくさんの食べ物を長くほぞんできるように、食べ物を入れる場所は広くなっていった。



いま：電^{でん}気^きれいぞうこ

いまのれいぞうこは、家^か庭^{てい}に合^あわせてさまざまな大^{おお}きさがある。

食^たべ物^{もの}のほぞんほうほうによって、いろい^ろろなき^のうがついている。